



あくていぶ21 矢野 仁志 議員

- 1 子どもの暴力行為の増加について
- 2 子育て支援について
- 3 公園のトイレについて

質問1 子どもたちの暴力行為の現状は。暴力行為の増加や低年齢化の原因と背景は。

答弁1 平成21年度各小・中学校からの報告件数は、194件。子どもの規範意識の低下や友達との直接的な会話や関わりの減少、核家族化の進行により、しつけや社会のルールを教える家庭教育が不十分であることが原因と背景として考えられる。

質問2 児童虐待の把握状況は。子ども家庭支援室の拡充の目的は。児童養護施設の設置については。

答弁2 平成21年度の新規虐待相談件数は69件、平成22年度は4・5月ですすでに30件。子どもの在籍機関の情報を集約し、成長に合わせた途切れのない支援をできるように保健・福祉・教育の各関係機関をつないでいくことを目的にしている。社会福祉法人より市内に児童養護施設設置の提案があり、今後、関係部署と協議し、建設費補助など積極的に設立を支援していきたい。

質問3 管理状況、清掃基準や頻度については。ここ数年でトイレ内での事故や犯罪の事例はあるか。

答弁3 近隣公園以上はシルバー人材センターへの年間管理委託によりほぼ毎日管理清掃を実施。既設の街区公園については、地元自治会と委託契約を結び、管理、清掃を実施。トイレ内の事故や犯罪事例はない。



あくていぶ21 青木 啓文 議員

- 1 生物多様性について
- 2 生け垣設置費補助について
- 3 次世代育成支援行動計画について

質問1 生物多様性に関わる基本的な考え方と自然共生社会のあり方、COP10にむけて市の考えは。

答弁1 天然記念植物群の保護管理増殖への取組み、温暖化防止には新エネルギーに対する補助やレジ袋削減等への取組み、また、市民の方が自然に接し、親しむ機会を少しでも多く提供したいと考えている。10月に名古屋で開催されるCOP10を機会に生物多様性について啓発したい。

質問2 今年度創設された生け垣設置費補助について目的と内容は。本市の特産物である植木・花木など

の生産振興に結び付くと思うが、市の考えは。

答弁2 市街地の緑地率増加を目的とし、補助金額は、50,000円を限度額としている。植木の生産振興に有効であり、市内産の植木を利用させていただき取り組みを検討したい。

質問3 「子育て」と「子育て」をささえる視点の考え、「鈴鹿らしさ」を生かした質の高い多様なサービスの提供は。国の子ども・子育て新システムは。

答弁3 「子育て」も「子育て」も目指すところは同じで、両者の視点に立ち本計画の事業展開を推進する。3つの中心的機関の連携を子育て支援総合ネットワークと捉え、きめ細かい良質な支援を行う。国は新システムの実施体制を一元化する動きをしており、国の動向を注視し対応したい。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

- 1 子宮頸がんについて
 - (1) 検診状況について
 - (2) ワクチン接種の状況について
- 2 高齢者の交通安全について
 - (1) 高齢者の交通事故について
 - (2) カラー舗装について

質問1(1) 年間の検診数は。検診はいつでもできるのか。無料クーポンの申請はどのようにするのか。

答弁1(1) 平成21年度の女性特有のがん検診推進事業における子宮頸がん検診数は1,469人が検診し、受診率は20.8%である。検診は検診車での集団検診と医療機関があり、女性特有のがん検診は検診手帳、無料クーポン券、受診方法の案内を直接対象者に送付している。

4 市議会だより

質問1(2) 年間の子宮頸がんの予防接種はどれくらいか。またワクチンの公費負担は考えたのか。

答弁1(2) 接種が開始されて間もないことから接種件数は把握できない状況。県内で費用助成を実施していないため、本市でも検討していく時間がほしい。

質問2(1) 高齢者の死亡事故の件数と発生時間、交通安全教室の取り組みはどのようにしているのか。

答弁2(1) 年間65歳以上の人身事故数は288件5名が亡くなり、午前9時から12時が多い。また安全教室や指導は昨年度で39回実施し4,488名が参加した。

質問2(2) カラー舗装の経緯と今後の取り組みは。

答弁2(2) 神戸、玉垣地区で3.8km実施し、歩行者空間事業とし通学路を中心に実施していく。

